報道関係各位
プレスリリース

平成29年2月20日発信
千代田区立日比谷図書文化館

漢字と秦の文字統一

― 最新の出土資料から見えてきたもの ―

殷代の甲骨（北京大学蔵）

19世紀末に発見された甲骨文字は現在確認される最古の漢字です。この今から三千数百年前に出現した漢字は、唐代に楷書として一応の完成を見ます。この間約二千年、長い漢字の歴史において、あらゆる意味において漢字の方向性を定めたのが、紀元前221年の秦の文字統一でした。今を生きる私たちにとっても、漢字の形のみならず、漢字に対する感覚や使い方、実印を押した契約書、書き取りテストといった身近な場面に至るまで、秦の漢字文化が息づいています。
文字統一を挟む戦国・秦漢の文字資料の出土は、近年、膨大な量に上ります。今回の講演では、出土資料による最新の漢字研究に基づき、秦の文字統一の意味を考えます。

講師　**大西　克也（おおにし　かつや）**

東京大学・大学院人文社会系研究科教授中山大学に留学。神奈川大学助教授を経て2013年より現職。専攻は中国語学・漢字学。春秋戦国・秦漢時代の言語や文字を、出土資料を用いて研究している。主な著作に『アジアと漢字文化』（放送大学教育振興会、2009）、『馬王堆出土文献訳注叢書　戦国縦横家書』（東方書店、2015）

開催概要

- ○ 日時：2017年3月17日（金）19:00～20:30（18:30開場）
- ○ 会場：日比谷図書文化館　地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- ○ 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- ○ 参加費：1,000円
- ○ 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiya1.jp）いずれかにて①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉千代田区立日比谷図書文化館
広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp
並木 namiki-yuri@shopro.co.jp
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4
TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341